

北海道医療大学 地域連携に関する基本方針

北海道医療大学は、生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを基本的な教育理念としている。そして、社会の要請と期待に応えるため、社会と共生・協働する自由で開かれた大学を志向し、「21世紀の新しい健康科学の構築」を追究することを行動指針と定めている。

本学の教育理念と行動指針を具現化するため、ここに北海道医療大学の地域連携に関する基本方針を定める。

地域連携に向けた方針を以下のとおり定める

1. 医療・保健・福祉に係る地域の「知の拠点」として、積極的に地域の活性化に係り、広く地域に開かれた大学を目指す。
2. 地域課題に関心を持ち、その解決に積極的に取り組むことのできる人材を育成する。
3. 地域社会の発展に貢献することのできる人材を育成するための質の高い教育・研究環境を整える。

地域連携の施策を以下のとおりとする

1. 地域との連携・協働事業の活性化

地域の地方自治体等と、産学官連携の推進に向けて大学の地域貢献に係る包括連携協定を締結し、継続的に連携事業を積極的に行うとともに、地域発展のためのシンクタンク機能を果たすための諸事業を行う。

2. 人材の育成と教育の充実

地域の課題解決に取り組み、地域での活動への参加を通じて地域社会の発展に主体的に貢献することができるよう、地域を対象としたカリキュラムの整備を行う。

3. 地域の課題解決に向けた研究の促進

地域課題の解決を目的とした研究活動を活性化する。

4. 生涯学習講座の充実

地域社会一般の教養の啓発を目的とした生涯学習講座（公開講座）を40講座以上開講する。